

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	YIC ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	44単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上 <a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/</a> に公表
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	YIC ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開  
<https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure>

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社エムビーエス 代表取締役	2019年4月 ～2021年3月	管理・運営に関する 意見具申及びガバナ ンス強化
非常勤	共美工業株式会社 代表取締役	2019年4月 ～2021年3月	管理・運営に関する 意見具申及びガバナ ンス強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	YIC ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>美容師養成施設指定規則(1条～18条)を遵守の上、法定単位時間(2010時間)以上の必須科目、選択科目を要し、当校では授業を講義・演習の2つの履修方法に分けている。講義としては必須科目(国家試験筆記科目)・選択科目「一般教養科目」(美容師に特化した接客(JBCA)、パーソナルカラー、ヘアケアマイスター検定)の座学中心の科目を行い、演習としては、必須科目の実習(国家試験実技科目を含む)・専門教育科目「選択科目」(ヘアデザイン・カラー・フォト・ヘアアレンジ・アイラッシュ・ブライダル・エステ・メイク)「共通科目」(総合基礎・総合実習・インターンシップ)といった実技を伴う科目で構成している。</p> <p>専門技能を習得し、美容師国家資格取得を最大の目標とする。</p> <p>また年2回(6月と12月)の教育課程編成委員会において美容業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作成したシラバスを毎年3月上旬にホームページ上にて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ上にて公表</p> <p><a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/</a></p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習意欲について、出席率は美容師養成施設教科課程の定める基準（教科課目の 1/3、実習を伴う教科課目にあつては 1/5）以上 85%以下の場合、学習意欲に欠けるとみなし、補講を行う場合がある。試験は前、後期各 1 回実施（実習に関する評価は、課題の出来栄等考慮し、数値化する）また、校内、外コンテスト等の結果を取り組む姿勢、意欲の観点で評価する。校外学習、ボランティア等はレポート提出を求める。これらを総合的に評価し、単位認定とする。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>以下の GPA 制度を設定し、ホームページ上にて公表。</p> <p>① GPは秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。</p> <p>② GPA は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。</p> $GPA = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ <p>各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ上にて公表  <a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/</a></p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学校関係者評価委員会及び教員課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定し、ホームページ上にて公表</p> <p>卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべて満たしていること。</p> <p>a. 美容学科においては、履修単位の合計が 67 単位以上であること。ただし、必修課目 47 単位、選択必修課目 20 単位以上であること。</p> <p>b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。</p> <p>c. 卒業制作を完成させていること。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホ ー ム ペ ー ジ 上 に て 公 表</p> <p><a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	YIC ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure</a>
財産目録	<a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure</a>
事業報告書	<a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		職業実践専門課程	美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/67 単位	630 単位 時間/21 単位	1320 単位 時間/44 単位	60 単位 時間/2 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			2010 単位時間/67 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		71 人	0 人	7 人	20 人	27 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<p>美容師養成施設指定規則（1条～18条）を遵守の上、授業計画及び法定単位時間（2010時間）以上の必須課目、選択課目を要し、美容師国家資格取得を最大の目標とし、専門技能習得を目指す。</p> <p>取得内容、達成目標等は、ホームページにおいて全シラバスを参照すること。</p> <p>また年2回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。</p>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度について  GP (グレード・ポイント) は、S, A, B, C, D 評価の各評価に対し、4, 3, 2, 1, 0 の順に付与する。  GPA (グレード・ポイント・アベレージ) は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下二位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。<math>GPA = \frac{\text{履修課目の単位数} \times GP}{\text{合計履修した課目の総単位数}}</math>  <math>GPA = (4 \times \text{「S」単位数} + 3 \times \text{「A」単位数} + 2 \times \text{「B」単位数} + 1 \times \text{「C」単位数} + 0 \times \text{「D」単位数}) \div \text{履修登録単位数}</math>  学年GPA 学年毎に算出されるGPAをいう。  通算GPA 在学中の全学期を通じて算出されるGPAをいう。  学年GPAや通算GPAは、学内における評価や就職活動に使用することがある。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。</p> <p>卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。  a. 美容学科においては、履修単位の合計が67単位以上であること。ただし、必修課目47単位、選択必修課目20単位以上であること。  b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。  c. 卒業制作を完成させていること。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生支援係がある。</p> <p>費用面のサポートとして、公共交通機関を利用しておおむね1時間以上通学に時間がかかる学生には遠距離サポート制度(毎月3000円支給)や、一人暮らしの学生(公共交通機関を利用した場合、おおむね1時間30分以上かかる場合)にはひとりぐらしサポート制度(毎月5000円支給)がある。  ただし以下の学生がひとりぐらしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。  隣県(広島、福岡、島根)からの入学者⇒毎月1万円支給  その他の都道府県からの入学者⇒毎月2万円支給  学習面のサポートとして自習、復習利用時、ホームルーム教室、メイク実習室、シャンプー実習室、図書室等、平日8:30~18:00 土曜日8:30~13:00まで開放。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	0人 (0%)	25人 (89%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 美容室、美容業、エステティシャン、エステ業、アイリスト、ネイリスト、美容部員、ブライダル業、貸衣装業、写真館など			
（就職指導内容） 就職実務授業、企業説明会、各地相談会参加、面接指導・対策、実技試験対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格、日本ビューティコーディネーター3級2級検定、JMAメイクアップ3級2級検定、JNECネイリスト検定3級、ヘアケアマイスタープライマリー検定、パーソナルカラリスト検定3級2級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	2人	6%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談、保護者面談、キャリアサポート室キャリアカウンセラー面談等を行い、当事者の根幹の悩み解消に努める		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容学科	150,000 円	670,000 円	30,000 円	教材費として 470,000 円程度
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 専門学校の実践的な職業教育の質を確保するため、学校関係者評価委員の方と当校教職員が、学校自己点検・自己評価結果、在校生・卒業生・卒業生の職場の上司へのアンケート結果に基づき、学校の管理運営について議題とし意見交換を行う。 学校評価委員会は、原則として年2回開催する。 1) 主な評価項目 (全国専門学校教育研究会の評価項目による) ● 教育理念 (建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化しているか上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか ● 各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか ● 各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか ● 各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか ● 各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされているか ● 各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか ● 各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか ● 各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか (入学前) (在学時) (卒業後) ● 意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか ● 学校の管理・運営体制が確立していること ● 財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか ● 各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか 2) 評価委員会の構成 委員の定数：5名以上

委員の選出区分：企業2名、高等学校1名、保護者1名、卒業生1名 3) 評価結果の活用方法 改善方策の実施時期：7月～12月 責任者：副校長		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社 ビューティサロンニュースタイル 代表取締役相談役	2019年4月～2021年3月	企業関係者
株式会社 ライブス 代表取締役社長	2019年4月～2021年3月	企業関係者
学校法人山口高川学園 高川学園高等学校	2019年4月～2021年3月	高校関係者
卒業生代表	2019年4月～2021年3月	美容学科卒業生
保護者代表	2019年4月～2021年3月	美容学科学生保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure">https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure</a>
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。